

C-10 幼児期の牛乳摂取状況について(第一報)  
西南学院大 ○皆上敬子 中川のふ

目的 幼児期に、摂取するニトが望ましい食品の一つとして、牛乳があげられ、一日に200~400ccを摂取するニトが、小児栄養の立場からし、望ましいといわれている。

反面、牛乳を多量に飲用するニトに起因すると思われる、食欲不振がみうけられる。実際に、幼児の牛乳摂取状況はどのようなものか、又母親の、幼児の牛乳摂取に対する意識を知り、食欲不振に結びつくものがあるかを知りたいと考え、次のような項目について、調査を行、た。

方法 アンケート調査により、福岡市の保健所に来所した、1才6ヶ月児(Ⅰ群)及び福岡市の保育園に通園している1~2才児(Ⅱ群)、2~3才児(Ⅲ群)

- 調査項目
1. 乳汁期の栄養に因して
  2. 離乳に因して
  3. 牛乳摂取に因して

結果 牛乳摂取量についてみると、各群ともに50%以上が、一日の摂取量は200~400ccである、た。600cc以上摂取している児がⅡ群に20.9%、Ⅲ群に21.2%あり、た。